

朝、街を歩いて思うこと。

毎朝、できるだけ、生徒たちの通学状況を把握するために、6:50分ごろから町に歩きに出ます。八幡神社にお祈りをして、柏手を打って、ゴミを拾いながら歩き始めます。

裁判所付近の交通指導員の方は、7:00過ぎにはもうスタンバイしていらっしゃると思いますので、挨拶を交わしながら、一小の坂を下りていきます。

ここまで出会うのは、下りの一番列車で6:30分にはいわき駅に着く生徒たちと、各路線の一番バスで通学する駅から歩いてくる生徒たちと、そして、上りの3番列車の6:59分にはいわき駅に着く生徒たちと、磐越東線で7:10分にはいわき駅に着く生徒たちです。

メンバーはある程度固定されておりますので、挨拶を交わしてその日の表情を垣間見ます。変わらない明るさであるとホッと、思いつめたようなまなざしには注視しています。テストが近づくにつれて、ノートを手にしたたり単語帳を手にしたたりして、知識を確認する様子も見るすることができます。

不審な車が止まっていると、ナンバーをメモしておきます。他県ナンバーは要注意です。一小の裏の坂を上らずに、349をまっすぐ歩いて、六間門への高麗橋の下から階段を上がってくる生徒もいます。ただ、横断歩道がないところを渡る必要があるので、学校では注意させています。

街を歩きながら、その町がどんな様子だったら魅力ある街に見えるかというのをいつも考えます。

- 1 ゴミがないきれいな街。
- 2 挨拶を含めて子どもたちが元気よく過ごしている街。
- 3 人が優しい街。

この3点がとても重要だと考えます。

いわき駅前を毎日のように6:00ごろからごみを拾っているおじさんを見たことがありますか。私は時々会うので、いつも感謝を込めて挨拶をします。まことに頭が下がります。

帰り道には、平一小生と平一中生に出会います。このごろは覚えてくれて、皆さん挨拶をしてくれます。大きな声で挨拶をしてくれると町が活気づいていくのが手に取るようになります。

7:30分には学校に戻りますが。狭い八幡小路や道匠小路をバスが通ります。生徒達が磐城高校前で降りるとき、行きかう車が交差するので横断歩道を渡るときに危険があります。ぜひ注意してください。

いわき駅の様子や、ラトブから田町付近の様子や、こ線橋を渡りながら常磐線の行きかう様子と子どもたちの通学風景を見るにつけ、力が湧いてきます。遠い水石山から湯野岳までの山並みと青い空と白い雲の様子を見つめて、磐城高校への道を右に折れ、学校のたたずまいを感じながら校門をくぐります。自転車通学生も大きな声で挨拶をしてくれます。

澤の湯方面から上ってくる生徒たちもいます。校舎の中では、早く来たものがそれぞれの場所で学習に勤しんでいます。8:00から打ち合わせです。

さあ、今日も始まります。頑張っていきましょう。

